

2012年 新年のごあいさつ

●就労継続支援B型

虹のかけはし・しおさい・天真庵

管理者 永 沼 憲 一

あけまして おめでとうございます。

新年を迎え、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、3月11日に起きた東日本大震災に関する出来事は、今でもはっきりと脳裏にうかんでまいります。

当就労継続支援事業B型三事業所につきましても、様々な損害を被りました。

この影響で利用者様には多くのご迷惑、ご心配をおかけい

たしました事、紙面を借りて深くお詫び申し上げます。

特に虹のかけはしにつきましても、事業所移転を余儀なくされるほどの損壊でありました。

しかしながら、皆様の御協力の下、小名浜丹波沼に再オープンする事が出来ましたこと、深く感謝申し上げます。

さて、今回様々な傷跡を残した東日本大震災であります、「絆」と言う言葉で代表されるとおり、国内（場合によっては国際的にも）人と人との連帯感が強まったことも事実です。この様な中、就労継続支援事業B型三事業所力を合わせ、互いに協力しながら、利用者様のニーズにあうような支援を心がけてまいりますので、本年もご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

●児童デイサービス ちゃーむ 日中一時支援事業ウイズ

管理者 小 宅 幸 恵

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、東日本大震災とそれに伴う原発事故や風評被害と日本全体が大規模な災害に見舞われた年でした。ちゃーむでは震災後、ライフラインが復旧するまで休所することになってしまいました。保護者の方々へ安否確認の電話をすると、避難所での生活を余儀無くされたこと、親子で炊き出しのポ

ランティアに出向いたことなど各家庭での生活をお聞きし、利用者全員が無事であることに安堵いたしました。

開所時には、子どもたちとの再会でたくさん笑顔を見ることができ、職員一同命を預かる大切さ、人との絆の大切さを改めて感じる事ができました。

今年は、輝かしい一年になることを信じ、子どもたちの成長を願うとともに、情報提供等に努め安心できる環境で支援をしてまいりたいと思います。本年もよろしくお願い致します。

●ヘルパーステーション あくていぶ

管理者 鈴 木 美 智

昨年は、未曾有の事態を受け、皆様大変な1年になったかと思えます。

私たち、あくていぶの事務所も被災し、勿来町への移転を致しました。それでも、皆様に変らぬご愛顧を頂き、誠に有難うございました。

今年は、「あけましておめでとうございます」という言葉が、あまり適切ではないと言われ、自粛される方も多いと聞

き、個人的なことですがどのような言葉で年賀状を出せばよいのかと探していたところ、「笑うあなたに福は来る ねっ」という一文を見つけ、なんだか心がほっとしました。どんなにつらい状況でも、「笑っていれば良いことがやって来る」の言葉通り、あくていぶ職員一同笑顔を忘れずに過ごしていきたいと思えます。

頑張っている皆様が、笑顔になれる幸多き年になるよう、私たちヘルパーステーションあくていぶが、少しでもお手伝いできればと思いますので、今年も、皆様の変らぬご愛顧とご協力を、宜しくお願い致します。

●レジデンスなこそ グループホーム・ケアホーム

施設長・管理者 大 橋 梨 香

新年を迎えて、利用者の皆様は気持ちも新たに生活をしている事と思えます。昨年は、東日本大震災、東京電力福島第一原発事故と大きな災害に遭い、利用者も仕事や作業所が休みになりました。また、レジデンスなこそやグループホームでの生活も停電、断水、自由に外出が出来ないなど不便な生活を送りましたが、この時に学んだ事「皆で助け合う、相手を思いやる、協力する、我慢をする」を忘れずにこれからも

生活をしてくれることと思えます。

利用者の皆様にはレジデンスなこそ、グループホーム、ケアホームを利用して頂き深く感謝しています。レジデンスなこそは、3月1日からケア、グループホームに移行しますが、グループホーム、ケアホームになっても「利用者さんが望む生活が叶えられるよう」努力をしていきたいと思えます。また、「レジデンスなこそ、ほりきり、あたご、おかおなで生活して良かった」と思ってもらえるような支援を職員、世話人と連携して頑張っていきたいと思えますので、本年もどうぞ宜しくお願い致します。

●地域生活相談室せんとらる

矢 吹 美 和

昨年は東日本大震災や原発事故があり、私達の生活も大幅に変わってしまいました。あの大変な状況の中、地域で生活される障がいをお持ちの多くの方々も、自分の生活を守るために、力強く頑張り、そして乗り越えました。大変な状況を乗り越え、たくましく生き抜く姿に、私達も勇気づけられま

した。震災当初は、自分の身を守ることだけに精一杯だった利用者も、環境が落ち着くとともに、個々のニーズが多様化しています。

昨年同様、今年も地域の方々や様々な関係機関と、連携を図りながら、障がいのある方の「自分らしさ」を大切に、支援していきたいと思えます。新たな年を迎え、気持ちも新たに進んでいくことができる年にできればと思っています。本年もどうぞよろしくお願い致します。